

# 各町会による防犯パトロール等を実施します

これから暑い時期を迎えますが、新所沢東部地区の各自治会・町内会では地域の安全安心を守るため、防犯パトロールと安全点検を行います。

また、防犯協会新所沢東支部では、今年も7月～9月に、青色回転灯装着パトロール車を使って防犯パトロールを行います。

近隣で不審者情報も寄せられているため、特にお子さんや女性の一人歩きは要注意！

夜間の不要な外出を控えるなど安全確保に努めましょう。



▲ツートンの可愛い車



▲埼玉県警マスコットポッポくん



## 新所沢東地域包括支援センターからお知らせ



### ■ 認知症サポーター養成講座

日時：9月2日(木) 午前10時30分～正午

講師：特別養護老人ホームアンミッコ

生活相談員 谷本 力也 氏

会場：新所沢東まちづくりセンター 講堂

定員：20名 (申込み先着順)

※8月10日(火)～受付開始

【新型コロナウイルス感染症対策のお願い】

- ◆検温と健康チェックを行います。
- ◆マスク着用でご来場をお願いします。
- ◆アルコール消毒をお願いします。

【問合せ】新所沢東地域包括支援センター

☎2968-8899

住所：松葉町11-1 マルハビル5階



地域包括支援センターは所沢市の委託により運営しています。



### 【高齢者いたわり部会】 集まれ！とこしゃん仲間

日程	会場
8月13日(金)	ラク所沢 ※室内履きをお持ちください
9月10日(金)	原則第2金曜
8月27日(金)	新所沢東
9月24日(金)	まちづくりセンター 原則第4金曜

とこしゃん体操は所沢市独自の健康体操です。1回約10分の体操で座ったままでも行えます。

【時間】午前9時30分～10時45分

【持ち物】運動しやすい服装・運動靴  
(室内履き)・水分補給用の飲み物

【問合せ】しんとこイーストネット

高齢者いたわり部会

原 部会長：TEL 04-2942-3741

佐久目 副部会長：TEL 04-2993-3054



### 和室1号、2号のたたみが 新しくなりました！

新所沢東まちづくりセンター和室1号、2号のたたみが古くなっていたため、6月11日に新しいたたみに張り替えをしました。和室でのサークル活動等がしやすい環境を維持していくため、引き続き丁寧にご利用にご協力ください。



## これからの“しんとこ東”を創造する

今回は、台湾出身で新所沢東地区に20年以上在住の佐藤 美姿<sup>びし</sup>さんからお話を伺います。佐藤さんは、令和3年5月より所沢インターナショナルファミリー(TIF)日本語講習会のアシスタントとして日本語教育の支援をされる一方、現在埼玉県が多文化共生推進会議委員も務められています。

所沢市では、令和3年5月末現在、外国籍市民は6,213人(うち新所沢東地区では310人)が暮らしており、既に同じ地域に外国にルーツのある方が定住しつつあります。そのため、今回は外国にルーツのある方の視点も含め当地区について考えていきます。

### ○新所沢東地区の印象

新所沢東地区の主なよさとして、①街並みがきれい②治安が良い③買い物がとても便利の3点が挙げられます。私の母国台湾は外食文化が根付いている影響もあり、同じ建物で1階がお店、2階以上に住居があることが多く、まちが雑多な雰囲気ですが新所沢東地区は住宅地が整備され公園等憩いの場もありとても住みやすいです。



### ○コロナ禍のできごと

昨年、台湾にいる母が体調を崩し、1月上旬と2月中旬に2回帰省したのですが、新型コロナウイルスの影響で台湾ではマスクなどが配給制(保険証を基に、1週間に1回台湾国籍者及び居留ビザ所有者のみ支給)になっており、私は既に日本国籍を取得したため配給の対象外でしたが元々花粉症で備蓄のマスクが多数手元にあったため、その時はそれらで乗りきりました。日本に帰国後、4月に他県在住者で直接は知らない台湾の人が、私の知人を通して50枚ものマスクを寄贈してくれました。すぐ使いきる枚数ではないため、考えた末、お世話になっている周囲の方や近隣に住む台湾出身の知人に少しばかりお譲りしました。その後母の体調の関係で5月下旬～1か月半再帰省した際は台湾の配給制限が解除されて、海外にいる親族(2親等まで)にも例外的にマスクを輸送することが可能になっており、私の親族から多数のマスクを寄贈してもらえました。

今回のことで改めて、家族や地域の方等との助け合いの大切さを感じました。

### ○コロナ終息後の新所沢東地区がよりよい地域となるために

①駅前商店街の活性化②花園一、二丁目・ラク所沢付近の狭い道路幅の改善③公園が誰でもいつでも楽しく使えて魅力を感じる場所となること④「自身が外国に住んだらどんな環境に置かれる」か想像した上で、外国人市民に接することの4点を挙げます。

①については、市民体育館のように他地域からの来訪者も多い施設があり、駅前商店街が活性化すると商店街の利用が増え賑わいのあるまちになると思います。②については、歩行者と車がギリギリですれ違うほど狭いため、今後の高齢者の増加も考慮し道幅を広げることをぜひしてほしいです。③については、日本では公園が子どもの遊び場所と認識されていますが、台湾では市民にとって「遊び場」としての空間だけでなく地域の人々のおしゃべりの場(昼間は高齢者中心の利用)や、日常生活のストレスを解消する場(夕方から夜間はランニング等運動する人)などで利用されています。今後の少子高齢社会に向けて、年齢、ハンディキャップの有無等を問わず、誰でもいつでも楽しく使える魅力的な場所になってほしいです。④については、TIFの方の「海外で仕事をしていた際に現地で感じた『自分が外国人』だった時を忘れず、今は日本に来ている外国人のために少しでも日本語教育で恩返しできたらいいな」という言葉が印象的で、そうした『自分が外国人』だったらという見方で物事を見ていただけると、共生社会に向けて少しずつ歩めると思います。

佐藤 美姿

